

観光イベントと観光情報を発信する 越生町観光協会



今年は、どんな事業を計画していますか

さくら祭り、やまぶき祭り、埋もれている観光資源の発掘と周知事業を予定しています。大きなイベントとしては、4月30日(土)までの投票により越生10名山が決まりますので、11月に実施予定の「越生10名山指定記念ハイキング大会」が大きなイベントになると思っています。

総合案内所ではどんな案内が多くなりましたか

やはり観光案内が多いです。なかでもハイキングの相談が一番多くあります。今は梅まつりの問い合わせが増えています。

また、越生駅は無人駅ですので、切符売り場、改札の場所、チャージする所など、駅利用の問い合わせが多くあります。黒山行きのバス、地産霊園行きのバス、タクシー乗り場、オーパークおごせのバスの案内なども毎日あります。通常は2〜3人で勤務していますが、外業務もあるため、1人になってしまったりもありません。



▲ハイカーのために案内板を設置する大沢事務局長

越生町観光協会は平成27年10月に法人化。令和2年4月から観光案内所オーティックの指定管理を受け、昨年4月からは越生駅西口での道灌おもてなしプラザでの窓口案内業務を町から委託されて、年中無休で窓口にあたっています。

業務範囲が拡大した観光協会に組織や業務内容、これからの事業についてお聞きしました。

観光協会はどんな組織ですか

現在、町内の企業、商店、事務所など、個人185名に会員になっていただいています。総会と理事会を開催するほか毎月会議を開催し、島野博行会長を中心に事業の内容について話し合います。

主な業務は何ですか

観光事業を行う目的は

越生梅林梅まつりをはじめ、さくら祭り、やまぶき祭り、黒山三滝滝開き、三滝の夏と紅葉のライトアップ、写真コンクール、観光キャンペーンの開催、窓口やホームページからの観光情報の発信、新規事業の企画立案などです。

観光客を受け入れる事業を展開すれば、町内の飲食店、観光関連施設への入込客が増えます。また、農産物、特産物などの売上アップにもつながります。一人でも多くの観光客に訪れてもらえるように、事業内容と情報提供に力を入れています。

昨年の新規事業は何ですか

8月末から電動アシスト自転車3台の貸し出しを開始しました。12月中旬から寒くなつたので、若干減ってきましたが、梅まつりで利用者が増えることを期待しています。

今年は梅のライトアップを企画しましたが、新型コロナウイルスの感染者が増進してきましたので中止にしました。来年を楽しみにしていただければと思います。



▲利用者に案内を行う阿部さん

町から委託を受けている業務の中で、どのようなことがありましたか

空き家バンクの相談がありました。見学をしたい方には、地図を書いて渡しています。小学校までの距離やスーパの場所なども聞かれます。

図書館で借りた本を返しに来る方もいます。図書館まで返しに行かなくて済みますので、便利に利用してもらっています。

待合室やギャラリーでのイベントはありますか



▲梅まつりのPR準備をする星野さん

昨年は大河ドラマで渋沢栄一を主人公とする「青天を衝け」が放映されたため、2月から12月まで渋沢平九郎展を開催しました。今年は1月4日から「越生の梅」写真展を開催しています。



▲作成ポスターの掲示を行う山口さん